

漁業調査船かいせいの桁網調査で 不思議な海洋生物が採捕されました！

2024年8月5日、川尻岬北西約62海里沖（水深138m）で、漁業調査船かいせいの桁網によりプラスチックのホースにテグスが巻き付いたような物体が採捕されました。最初、ゴミかと思いましたが、体をよじらせて動いたので、生物であることがわかり、驚きました。持ち帰り、名前を調べた結果、ミョウガガイ *Scalpellum stearnsi* と呼ばれる甲殻類でカメノテの仲間であることが判明しました。本種は深海性種で相模湾以南の暖水域の100m以深に生息するようです。

この場所では、貝殻に多数の小石や貝殻が付着したクマサカガイ *Xenophora pallidula* という貝も同時に採捕されました。クマサカガイは東北地方以南の水深50～1050mの泥底に生息し、落ちている小石や貝を付着させながら成長する、不思議な生態を持っているようです。

ミョウガガイ
(全長：左個体 130mm, 右個体 139mm)



クマサカガイ
(殻径59mm)

